

OPINION 旅行会社・添乗員・派遣会社一体で 価値の向上を

現在の旅行業界を取り巻く環境は、景気悪化等の影響で消費低迷による厳しい状況が続き、また、お客様のニーズの多様化やサプライヤー動向など大きく変化しています。

これからは今まで以上に「お客様からの視点」「品質」「差異・強み」の追求が大切になるものと考えています。

お客様にとって旅行会社の存在価値は人や目的により様々だと思いますが、団体旅行企画や企画商品においては、単品素材の組み合わせでは味わえない提案、旅行会社でなければできないような提案、旅行のプロとしての対応や案内等による安心感が大きいのではないかと思います。

添乗員の価値・「強み」を磨く

料理は、料理をサービスする人のお客様へのおもてなしの心や態度により味が変わると言います。添乗員同行の旅行では、個人旅行ではできないような旅行行程や内容、添乗員の人的なサービス等が大きな特徴であり、添乗員自身が大きな鍵をにぎっています。旅程管理は重要な役割ですが、旅行中は様々な局面で臨機応変な対応が必要となります。基本的な知識の上に、常にお客様の立場にたってお客様に対して何が出来るか、どうしたら喜んでいただけるかを考える姿勢をもつことや、節度ある言葉使い、礼儀正しい態度をとることが添乗員にとって大切ではないでしょうか。

お客様の気持ちは絶えず変化していますし、様々なお客様の要求があることも事実ですが、厳しい局面を乗り越えたり、添乗員がお客様に真摯に向き合い真剣に対応したことが伝わった時に、お客様の笑顔やお褒めの言葉となって返ってきます。そのことが添乗員のやりがいにも繋がっているのではないかと思います。

添乗員はプロであり、プロだからこそ自らの強みを絶えず磨き続けていくことで価値を向上させていかなければなりません。添乗員の強みとは、添乗員自身が持っている様々な知識・経験・技術、そしてお客様のことを考えられる力や人としての魅力など、まさに「人」そのものであると考えます。添乗員の活躍によってその旅行がお客様から高い評価をいただくことは、派遣先の旅行会社やその旅行を販売した店舗の良い評価や評判に繋がっていきます。添

乗員の強みを磨くことは、添乗員自身の努力が欠かせませんが、派遣会社や業界においてその強みを引き出すと同時に、添乗員の質のレベルアップにむけた取組をしっかりとやっていくことが大切であると思います。

添乗員の「気づき」を活かした 旅行会社との一層の連携

添乗員はお客様と決められた旅行行程を共にする中で、お客様の声や反応、実際の行程や手配および現地対応、また最新の現地事情などから様々な「気づき」を持ちます。添乗員が実際に現地においてお客様と同じ目線及びプロとしての目線を見た、最前線かつ最新の貴重な「気づき」を旅行会社の顧客満足への取り組み、商品造成や商品価値向上、そしてリスク管理の充実等に活かしていくことが大変有意義であると思います。お客様に支持される良い旅行を作り上げるために、旅行会社と添乗員のより一層の連携をしていく工夫が大切ではないかと思っています。

添乗業務は、旅行自体の品質や旅行会社にとって大きな影響のある大切な仕事です。一方で、添乗員は派遣という非常に不安定な立場であることや、その価値に対する処遇等について様々な課題が現存しています。添乗員自身には自らの価値を高めていく努力を続けていただきながら、派遣会社としては、添乗員の価値向上への取り組みや処遇改善、諸課題の解決に向けた取組を進めていかなければなりません。しかしながら、これらは、派遣会社だけでは解決ができない問題も多くあり、派遣先の旅行会社に添乗員の価値やその厳しい労働実態、そして人材そのものの大切さを十分にご理解いただき、ご協力を賜りながら進めていきたいと考えています。



TCSA理事
(株)ジャッツ 代表取締役社長

都築 英信氏

CONTENTS

OPINION ————— 1

旅行会社・添乗員・派遣会社一体で価値の向上を
(株)ジャッツ 代表取締役社長
TCSA理事 都築 英信氏

特集 ————— 2

平成2年度観光人材育成事業を終えて…

TOP INTERVIEW ————— 4

株式会社 ジャルパック 代表取締役社長
大西 誠氏をお訪ねして

TCSA REPORT ————— 6

平成22年度旅程管理研修総合コースの
講習日程短縮と受講料金値下げ「決定」
—第一四半期(4月~6月)開催日程—

TCSA REPORT ————— 7

派遣元責任者講習会スケジュール(4月~9月)
“ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2010概要決定
200日添乗員のコソコソ奮闘記 ㊟

TCSAだより ————— 8

平成22年度運輸局長表彰(観光従事者功労) 5名受賞
会員動向 編集後記

特集!

平成21年度 観光人材育成事業を終えて・・・

昨年、国の雇用化対策及び雇用の高度化を図ることを目的とした「観光人材育成事業」のうち、「添乗業務研修」を中小企業庁から観光庁、(社)日本観光協会を經由して受託。平成21年9月～平成22年2月の間、協会主催の受託事業として実施し、好評裡に終了しました。

各地区とも定員を超える受講者が参加

研修では、事業の主旨に沿って、観光産業に関心のある学生や添乗経験の浅いツアーコンダクターを対象とした「初級コース」、ベテランのツアーコンダクターを対象とした「中級・上級コース」に分けてそれぞれ4日間の日程で札幌・東京・名古屋・大阪・福岡の5地区(東京地区のみ各コース2回ずつ実施)で行いました。

受講者数は総数800名弱と、各地区とも定員を超える参加がありましたが、学生等は時期的に就職活動のタイミングと合わなかったこともあり、結果として現役ツアーコンダクターの方が多く参加されました。

受講料は受託事業のため無料で実施しました。

◎受講者の内訳

初級

地区	参加人数
札幌	61名
東京	105名
名古屋	65名
大阪	112名
福岡	61名
計	404名

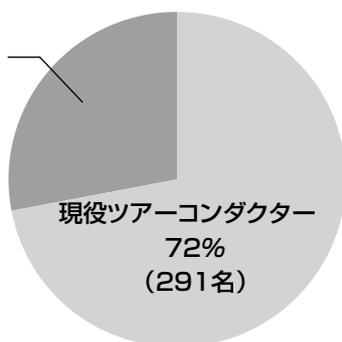
中級・上級

地区	参加人数
札幌	50名
東京	114名
名古屋	79名
大阪	106名
福岡	42名
計	391名

◎受講者の分布

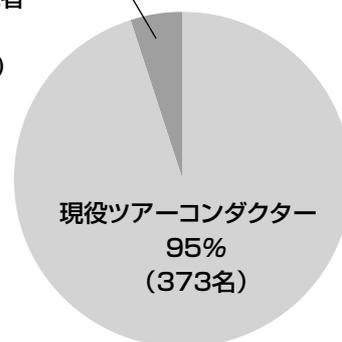
初級

学生等求職者
28%
(113名)



中級・上級

学生等求職者
5%
(18名)



学生等求職者に魅力付けを、現役ツアーコンダクターには即実践できる研修を

本カリキュラムを設定するに当たり、学生等求職者に対しては職業の魅力付け、および就職活動の一助とすることを目的に、添乗業務の流れや職業ガイダンス等を初級コースに盛り込みました。現役のツアーコンダクターに対しては、昨今の添乗業務において、お客様のニーズの多様化に対応するために高度なコミュニケーションスキルを要すること、会員会社独自で実施することが難しいテーマ、業務にすぐに役立てることができるといった観点から、基本の振り返りも含めて、ビジネスマナー、コミュニケーションスキルアップ研修、顧客心理研修、コーチング研修等を取り入れました。

◎研修カリキュラム

初級

	午前 (10:00~12:00)	午後 (13:00~17:00)
1日目	ツアーコンダクターという職業とは	添乗業務の流れ (国内・海外)
2日目	接客マナー研修	コミュニケーションスキルアップ研修
3日目	世界遺産研修	顧客心理研修
4日目	ツアーコンダクターの仕事の役割 (現役ツアーコンの体験談)	添乗員職業ガイダンス (添乗員派遣会社の会社説明会)

中級・上級

	午前 (10:00~12:00)	午後 (13:00~17:00)
1日目	ストレスケア研修	プレゼンテーションスキルアップ研修
2日目	コーチング研修 (入門編)	コーチング研修 (実践編)
3日目	ヒューマンエラー研修	旅行医学
4日目	ビジネスマナー研修	ツアーコンダクターに求められる職業能力

9割以上が「大変為になった」&「参考になった」

講師には各科目ごとに精通している専門家の方を招いて実施し、受講された方々からのアンケートでは、全体の9割以上の方々から「大変為になった」、「参考になった」との感想をいただきました。

一方、「午前2時間、午後4時間ではなくそれぞれ3時間で実施して欲しい」、「火曜日からの実施にして欲しい」、「トラブル対応の研修を実施して欲しい」等の意見もいただき、今後の参考にしていきたいと思っております。

<受講者からの感想 (抜粋)>

- ・業務を振り返ることができた
- ・知っているようで知らないことがたくさんあった
- ・目からウロコの思いを久しぶりに体感した
- ・日々の業務に活かせる内容だった
- ・実践形式の講習内容が良かった
- ・密度の濃い研修内容だった

<改善、要望に関する意見 (抜粋)>

- ・午前3時間、午後3時間の構成にしてほしい
- ・トラブル、クレーム対応の研修を実施してほしい
- ・時間が足らなかった
- ・業法、約款の学習を取り入れてほしい
- ・初級と中級で内容が一部重複するところがあった
- ・添乗経験別にカリキュラムを設定してほしい

今後も継続実施を申請中 スキルアップを図る絶好の機会

今回、研修を実施してみて、多くの方から満足度の高い感想が寄せられ、非常に成果のあった受託事業だったと思っています。

この事業はTCSAとして平成22年度も是非継続していきたいと、現在関係団体経由で国へ継続実施申請をしています。

継続実施できることとなった際には、今回受講された方々からの意見を参考に実施科目を精査するとともに、受講地区も拡げて実施することも視野に入れていきたいと思っております。

ただ、今回の研修はTCSA全会員に所属しているツアーコンダクターの方々を対象として実施したにもかかわらず、受講いただけなかった会員会社もありました。

このような研修はツアーコンダクターの方々にとって非常に有益であり、各社に所属しているツアーコンダクターのスキルアップを図る絶好の機会でもあります。また、各社が同様の研修を自社で実施しようとした場合、膨大なコストがかかることも考えると、無料で受講することができるというの大きなメリットであると思っております。

TCSAとしては会員各社および所属ツアーコンダクターの方の役に立つ、希望される研修を、今回のような受託事業を通じて実施できることは大きな意味があると考えておりますので、学生等への周知方を徹底すると共に、次回実施の際は1社でも、1人でも多くの方々にご参加いただきたいと思います。

株式会社 ジャルパック

代表取締役社長 **大西 誠氏**

アヴァとアイルの2ブランドを「JALパック」に統合され、懐かしいブランド名が復活したジャルパックの舵取りをされる大西誠社長をお台場本社にお訪ねしました。

三橋専務理事(以下 三橋) 長い間航空会社に居られた大西社長がジャルパックの社長に就任されて1年が経とうとしていますが、旅行業界についてどのようにお考えでいらっしゃいますか。

“新生JALパック”で 「いい旅、あたらしい旅」創りを

大西社長(以下「大西」) 旅行業界だけでなく世の中全体が今、非常に厳しい状況であることが最大のポイントで、歴史を重ねた会社はどこも苦しんでいます。当社もその渦中にいるわけです。

当社は、1969年に旅行開発株式会社としてホールセールに特化してきましたので、創業の精神に立ち返って社員一丸となって価格志向だけではなく「いい旅、あたらしい旅」を作ろうと再認識しています。そこで20年ぶりに企業理念も改定しました。

第一に“お客さまの視点を大切に、安心と品質の「いい旅」を提供します”

第二に“常に「あたらしい旅」を創り、お客さまの感動を追求します”

そして最後に“旅を通じて、お客さまに愛され、社会に貢献する会社を目指します”

この三点です。

三橋 ホームページで拝見いたしました。確かに“安かろう悪かろう”のような旅行で疲れ果てて帰って来た旅行者は二



度と海外旅行はしたくないと思いますが、思い出に残る素晴らしい価値ある旅行を経験すれば、また行きたいとの思いが深まります。そういう意味でも最初の旅が大切でございますね。

大西 私もそう思います。価値ある旅行を提供しようと当社ではお子様連れのお客さまのために、機内でどれだけ騒いでもいようにハワイファミリージェットチャーターを出したり、昨年ツアーオブザイヤーの賞をいただいた「お母さんを助けるツアー」等を企画しました。

また、子供時代に旅の楽しさや魅力を経験すると旅行好きになると言われることから、家族が海外旅行を通じて様々なことを体験することができる「家族修学旅行」を子供の目線に立った商品として造成したいと思っています。

三橋 機内で上昇時や下降時に耳が痛くて泣き続けるお子さんを抱いてオロオロする家族連れの方々をよく見掛けますが、こういうチャーターならば周囲に気を遣わずにすみませぬ。

先ほど「旅行開発」という懐かしい社名が出ましたが、あの頃はジャルパックが海外旅行パッケージツアーの代名詞になっていて、ジャルパック=日本航空で行く旅、と捉えられていたように思います。ところで、今年はブータンを上期の商品として力を入れていらっしゃいますが、社長自らブータンに足を運ばれましたとか…。

大西 ブータンの首相と会えるということもあって行ってきました。

ブータンは「国民総生産」だけではなく「国民総幸福量」が大事だということを国の方針としていることで知られています。経済ではヒマラヤを流れる川の水力発電をインドに売って、それが国の半分の収入になっています。これからは「ツーリズム」も一つの柱としていきたいという考えがあるようですが、量より質を重視している点がジャルパックの考え方と一致しました。ブータンのような新しいディスティネーションだけではなく、新しいコンセプトの旅、例えば記念日旅行、パリのショコラティエに訪ねる旅、浅井慎平さんと写真を撮る旅等もどんどん打ち出していきたいと考えています。さらにツアーコンダクターが企画する「世界紀行」という商品も販売開始しています。1月20日にJALパックは新しいブランドとして販売を開始しましたが、お陰様で順調な出足となっています。

三橋 御社には豊富な添乗経験を持ち、多くのお客さまから高い評価を得ておられるスーパー・ツアーコンダクターが大勢

いらっしゃいますね。社長自らが表彰される制度もその方達のモチベーションを高めているのだと思います。

大西 ありがとうございます。

三橋 ところで、ツアーコンダクター及び協会の役割についてはどのようにお考えでいらっしゃいますか。

TCSAに求められる “ツアーコンダクター 同行ツアーの意義” 啓蒙

大西 例えば観光地などをただ漠然と見るだけでは印象に残りませんが、そこでツアーコンダクターから、一つ説明を加えてもらっただけで「なるほど、そういうことか!」と知的な好奇心が満たされます。観光スポットへの興味も深まり、旅行の楽しみ、満足度を高める重要な役割を担っています。移動手段、宿泊機関などハード面での差は余りつけられませんが、感動する旅行体験の演出はツアーコンダクターに委ねられています。

また、様々な手続きも含めてケアフリーでお客様が安心してツアーに参加できるということが大きいと思います。ツアーコンダクターが同行するツアーの効果、楽しさ、気楽さをいかにアピールするかが重要で、TCSAはその大きな役割を担っておられると言えるのではないのでしょうか。

サービスは2WAYコミュニケーションが基本で、提供される側と受け取る側のコミュニケーション無くして成り立ちません。グループの一員としてサービス「される」だけではなく、サービスを受けたらどう反応したら良いか、「サービスの受け方」についての啓蒙活動も行っていく必要があるのではないのでしょうか。

三橋 特に日本人は無反応なケースが多いですね。最後に、思い出に残っておられる旅の話をお聞かせいただけますか。



肌で体験できた 旅先各地でのジョギング

大西 何ととっても、大学3年の終わりに1ヶ月半ほど1人でヨーロッパを鉄道で回った旅が強烈に印象に残っています。いわゆるバックパッカーとして種々な体験をしたことが忘れられません。それと、1992年に超党派の訪朝団に同行して北朝鮮に行った旅が思い出に残っています。

私はジョギングが趣味で、出張先など世界各国でジョギングをしましたが、走っているときの各地の風景や光景などは全て鮮明に残っています。平壤でも1時間ほどホテルの周りをジョギングしました。

唯一ブータンに行った時は放し飼いの野犬がいるためジョギングができませんでしたが…。

三橋 本日は楽しいお話をありがとうございました。



“新生JALパック”の思いを熱く語られる社長のお話は興味深く、お約束の1時間があっという間に過ぎてしまいました。

平成22年度旅程管理研修総合コースの講習日程短縮と 受講料金値下げ“決定”

—第一四半期(4月～6月)開催日程—

平成22年度旅程管理研修の全国各地区での開催日程が決定しました。また、本年度の4月以降に開催する研修より総合コースの開催日数を従来の4日から1日短縮し、受講料金も値下げいたしましたので、積極的な受講をお願いします。

<旅程管理研修開催スケジュール>

地区	実施コース	実施日程	申込締切日
札幌	国内研修	4月 20日(火)・21日(水)	4月 9日(金)
	国内研修	5月 18日(火)・19日(水)	5月 7日(金)
	国内研修	6月 8日(火)・9日(水)	5月 28日(金)
仙台	国内研修	4月 6日(火)・7日(水)	3月 26日(金)
東京	国内研修	4月 1日(木)・2日(金)	3月 22日(月)
	国内・総合研修	4月 14日(水)～16日(金)	4月 5日(月)
	国内・総合研修	5月 11日(火)～13日(木)	4月 30日(金)
	国内研修	5月 27日(木)・28日(金)	5月 17日(月)
	国内研修	6月 8日(火)・9日(水)	5月 28日(金)
	国内・総合研修	6月 22日(火)～24日(木)(★)	6月 11日(金)
静岡	国内・総合研修	6月 5日(土)～7日(月)	5月 26日(水)
名古屋	国内研修	4月 13日(火)・14日(水)	4月 2日(金)
大阪	国内・総合研修	4月 6日(火)～8日(木)	3月 26日(金)
	国内研修	5月 18日(火)・19日(水)	5月 10日(月)
	国内研修	6月 15日(火)・16日(水)	6月 4日(金)
福岡	国内研修	4月 6日(火)・7日(水)	3月 26日(金)
	国内研修	5月 25日(火)・26日(水)	5月 14日(金)
那覇	国内研修	4月 6日(火)・7日(水)	3月 26日(金)

※(★)6月度東京地区は語学について中国語の設定もあります。

※本年度より実施日程は四半期ごとの案内になります。

※未記載の地区は7月以降の実施予定です。

派遣元責任者講習会 スケジュール (4月～9月)

右記日程で、
派遣元責任者講習会を
行います。

開催地	開催日	受付日	定員	会場
東京	4月 6日(火)	2月 8日(月)	300名	大井町きゅりあん
大阪	5月 14日(金)	3月 12日(金)	200名	エル大阪
福岡	5月 28日(金)	3月 26日(金)	250名	天神ビル
愛知	6月 11日(金)	4月 9日(金)	170名	愛知県産業労働センター
北海道	6月 25日(金)	4月 23日(金)	200名	北海道建設会館
東京	7月 16日(金)	5月 14日(金)	300名	大井町きゅりあん
東京	8月 20日(金)	6月 18日(金)	300名	大井町きゅりあん
東京	9月 30日(木)	7月 30日(金)	300名	大井町きゅりあん



“ツアーコンダクター・オブ・ザ・イヤー2010”概要決定



昨年1年間の実績、功績において優秀なツアーコンダクターの榮譽を称える表彰制度が今年で5回目を迎えます。

詳しくは、5月GW明けまでに推薦対象会社(TCSA会員会社、旅行会社)に書類を発送すると共にTCSAホームページにも掲載いたします。候補者は添乗を専業とする者として、旅行需要の減少や添乗以外の事由を考慮して前年添乗日数100日以上条件を除外します。

- ・推薦カテゴリ
- ① 添乗中の非常時対応
 - ② 社会的貢献
 - ③ 旅行会社の営業促進及び組織貢献
 - ④ 特殊才能活用による添乗サービスの成果
 - ⑤ 著書・マスコミ登場等による職業魅力づけ貢献
 - ⑥ 傑出した高評価
 - ⑦ TCの鑑として普遍的功績
 - ⑧ 特筆すべき派遣先・旅行客の推薦
 - ⑨ 社会的話題性提供
 - ⑩ その他特筆すべき推薦理由

- ・表彰内容
- グランプリ(国土交通大臣賞1名)
 - 準グランプリ(観光庁長官賞1名)
 - 選考委員会委員長賞
 - 日本添乗サービス協会会長賞
 - その他特別賞

- ・表彰式 JATA世界旅行博初日業界入場日
(平成22年9月24日(金) 予定)

2000日添乗員の「コッソリ」奮闘記

連載 39



尽きない添乗の魅力

(株)TEI

堂下 美知子さん

平成21年TCSA永年勤続表彰受賞

添乗員になって楽しいことや嬉しいことなど多くありますが、共に辛いことも数多くありました。途中でもう辞めてしまおうかと考えたこともたびたび。しかしやはり辞められないのはお客様のツアー中の反応と最後の

言葉。私にとっての最大の魅力はこれらにあります。

海外の初添乗のヨーロッパ5か国巡り。スルーのドライバーがローマの人で英語が分からない人。これを知った時いや～な予感がしたのですが、それが大当たり。

ベニスでは「トロンケット下車」のはずが「ピアツェ de ローマ」に降ろされ、アシスタントから搜索されたり、インスブルックではホテルがわからず40分迷ったり、ノイシュバンに行くのにオーストリアを出たはずがまたオーストリアに戻っていたり、ライン河下りでは高速を降りるところを間違え、船に集まれなかったり(次のところから乗船しました)、ベルンではホテルに行くのにバトカーに先導してもらってやっとなどり着けたなど、普通大クレームになりそうなツアーだったのです。

ところが、ツアー中のお客様は最初の頃はやはり不安だったようですが、中盤あたりから様子がおかしくなりました。なぜか楽しそう? 道が分からない添乗員とドライバーにとっても協力的で、インターレーケンに着いた時は「今日は何も無かったね」とにんまり。帰りの飛行機で最後の御礼を言いながらお客

様の席を回っていると、皆さまから「おもしろかったね」と言われました。アンケートにも「サバイバルなヨーロッパ旅行で楽しかった」と書かれておりました。ドライバーに対してもイタリア人特有の明るさのせいか皆さまも仲良くしてくださいました。こういったことが、初添乗で散々な目にあって普通だったら辞めているところを辞めずに今までやってこれた添乗の魅力なのです。

やさしいお客様ばかりだったのねと言われれば確かにそうですが、温かい目で見えてくれて、なおかつ楽しんでくれたこの時のお客様に大感謝です。

また、国内ツアーでは、春なのに異様に暑い日の出来事。その日の昼食は「鍋物」。どう案内しようかと考えながらバス車内でマイクを持ちお昼の案内。「いや今日はとても暑い日ですね。本当に暑い日ですね。それで今日の昼食は…」と言い、一呼吸おいて「鍋です」と思い切ったところ車内大爆笑の嵐となりました。食事を終えてバスに戻って来られるほとんどの男性の方は「いや～今日はビールが美味かった」と笑っておられました。

今でもこの事を思い出すと、なんとなく心がゆるむのです。

添乗員の仕事はやっぱりお客様が楽しくしていらっしやるのが一番だなあと毎回感じております。



TCSA だより

平成21年度運輸局長表彰(観光従事者功労) 5名の方々が晴れの受賞

TCSA永年勤続表彰受賞等の実績により協会が推薦した結果、平成21年度の観光従事功労者として近畿、関東の運輸局長から5名の方々が表彰されました。



近畿運輸局長表彰: 稲田幸美さん、鈴鹿岳さん、本郷友希子さん((株)ジャッツ所属関西)
関東運輸局長表彰: 藤田泰子さん((株)JTBワールドパッケージングズ所属)
原田哲夫さん((株)フォーラムジャパン所属)

会員動向

正会員

●入会

(株)HSサポート
代表取締役 大屋 政士
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-28-9
電話:03-567-178 FAX:03-567-179

●代表者変更(順不同・敬称略 < >内は前任者)

(株)ツーリストエキスパート
代表取締役社長 箱田 和廣<疋田 誠司>

(株)フォーラムジャパン
代表取締役社長 松本 達也<中西 康夫>
中西 康夫 取締役相談役に就任

(株)オデッセイ
代表取締役 野々山 桂<新幸 さとみ>
新幸 さとみ 取締役派遣事業部長に就任
(株)オデッセイと(株)夢屋が経営統合で合併

シモデンスタッフサービス(株)
代表取締役社長 野上 荘平<安田 恒忠>

(株)日旅九州エンタプライズ
代表取締役社長 加茂 民雄<鈿菱 英明>

●住所変更

(株)ジェイティービーサポート中部
新住所:〒451-0045名古屋市中区名駅2-278
名古屋プライムセラルタワー8階
電話・FAX変更なし

(株)ドウ
新住所:〒531-0072大阪市北区豊崎3-6-11
エイトビル7階
新電話:06-63458800
新FAX:06-63718867

(株)阪急トラベルサポート
新住所:〒1538543 東京都目黒区青葉台3-6-28
住友不動産青葉台タワー7階
新電話:0367458278
新FAX:0367458276

・札幌支店:住所変更なし 電話:011-330-2474
FAX:011-330-2475

・高松出張所:〒760-0017 高松市番町1-1-5
ニッセイ高松ビル8階
電話、FAX 変更なし

各委員会動向 (敬称略 < >は前任者)

●運営幹事会

(株)ツーリストエキスパート 箱田 和廣(代表取締役社長)
<馬場 義和>

●研修委員会

(株)フォーラムジャパン 和崎 健一(営業統括マネージャー)
<向原 剛>

●添乗員厚生委員会

委員長 (株)ジャッツ 都築 英信(代表取締役社長)
<清水 哲朗>

●添乗業務改善委員会

委員長 (株)旅行綜研 清水 哲朗(代表取締役社長)
<馬場 義和>

(株)フォーラムジャパン 和崎 健一(営業統括マネージャー)
<川崎 滋>

(株)エコールインターナショナル 加藤 則由(取締役営業本部長)
<遠藤 正治>

(((編集後記)))

事務局長就任後丸1年が経過した。この1年間で景気低迷の影響もあり協会事業の柱である「旅程管理研修」「派遣元責任者講習会」の受講者が大幅に減少し、昨年度収支決算でマイナス計上となった。平成22年度は旅程管理の総合研修を3日に短縮し、受講料金を下げることにより受講しやすいように改善すると共に、派遣元責任者講習会の正会員受講料については協会負担を継続することとした。会員各社の受講者増員に期待するところ大である。(MB)

社団法人 日本添乗サービス協会
〒105-0011 東京都港区芝公園2-11-17 朝井ビル 4階
TEL(03)3432-6032・FAX(03)3431-8698
E-mail tcsa@tcsa.or.jp
URL http://www.tcsa.or.jp/